

2019年度いのちのセミナー 講師の方々

<p><b>第1回</b> 2019年6月2日(日) <b>柳家 花緑</b> 落語家 「いのち」を最大限に使い切る生き方 ～使う「いのち」が我々の“使命”～</p>		<p>1971年東京生まれ。9歳の頃より落語を始め1987年3月、中学卒業後、祖父である故・五代目柳家小さん入門。1994年、戦後最年少の22歳で真打昇進、花緑と改名。スピード感溢れる歯切れの良い語り口が人気で、着物と座布団という古典落語の伝統を守りつつも、近年は劇作家などによる新作落語や、都道府県落語を“洋服と椅子”という現代スタイルで口演する「同時代落語」にも挑戦している。また、落語会以外の活動も精力的に行っており、テレビ・舞台などでも、ナビゲーターや俳優として幅広く活躍中。著書に『花緑の幸せ入門「笑う門には福来たる」のか?～スピリチュアル風味～』(竹書房)など。</p>
<p><b>第2回</b> 2019年8月2日(金) <b>宮田 修</b> 千葉県熊野神社宮司 元NHKアナウンサー 日本人は“いのち”をどう考えてきたか～神道から見た「いのち」～</p>		<p>1947年千葉県生まれ。元NHKアナウンサー。阪神淡路大震災では、発生直後に第一報を伝える。NHK報道アナウンサーを務めながら神職資格を取得し、2003年に千葉県熊野神社の宮司となる。2008年にNHKを退職した後は、全国で講演活動を展開している。神道には「中今を生きる」という言葉があり、先祖から代々受け継いできた大切な命を次に伝える大切さを訴える。著書に、『こころを楽にする生き方』(ベストセレクト)など。</p>
<p><b>第3回</b> 2019年8月23日(金) <b>大津 秀一</b> 早期緩和ケア 大津秀一クリニック院長 死ぬときに後悔しないために～緩和ケア医からみた大切なこと～</p>		<p>1976年茨城県生まれ。早期緩和ケア大津秀一クリニック院長。岐阜大学医学部卒業。緩和医療専門医。2005年京都市の日本パプテスト病院ホスピスに勤務。在宅療養支援診療所、大学病院緩和ケアセンター長を経て、2018年に遠隔診療を導入した日本最初の早期からの緩和ケア専門外来クリニックを開設。がん患者3,700名以上、終末期患者2,000名以上の緩和ケア経験がある。著書に、最新刊『1分でも長生きする健康術』(光文社)、25万部のベストセラー『死ぬときに後悔すること25』(新潮文庫)、『大切な人を看取る作法』『傾聴力』(大和書房)など多数。</p>
<p><b>第4回</b> 2019年9月5日(木) <b>金菱 清</b></p>		<p>(今回参加者募集)</p>
<p><b>第5回</b> 2019年9月27日(金) <b>吉田 実盛</b></p>		<p>(今回参加者募集)</p>
<p><b>第6回</b> 2019年10月17日(木) <b>入江 杏</b> 世田谷一家殺人事件 被害者遺族 「ミシュカの森」主宰</p>		<p>国際基督教大学卒業。上智大学グリーンケア研究所非常勤講師、世田谷区グリーンサポート検討委員。2000年、世田谷一家殺人事件により、隣地に住む妹一家四人を失う。犯罪被害としての悲しみ・苦しみと向き合い、葛藤の中で「生き直し」をした体験から、「悲しみを生きる力に」をテーマとする講演会等を開催している。また、「ミシュカの森」主宰として、悲しみの発信から再生を模索する人たちのネットワークづくりに努めている。著書に、『悲しみを生きる力に～被害者遺族からあなたへ』(岩波書店)など。</p>
<p><b>第7回</b> 2019年11月8日(金) <b>沼野 尚美</b> 宝塚市立病院 緩和ケア病棟チャプレン・カウンセラー</p>		<p>武庫川女子大学薬学部卒業。神戸ルーテル神学校修士課程修了。ケンシントン大学大学院行動科学研究科修士課程修了(心理学・カウンセリング修士号取得)。病院薬剤師から病院チャプレンおよびカウンセラーに転職。これまで10箇所のホスピスで勤務し、3,000人以上の方々との生と死に関わってきた。専門はがん患者とその家族の精神的援助と宗教的援助。著書に、『いのちと家族の絆』(明石書店)、『救いは苦しみの中にある』(明石書店)など。</p>
<p><b>第8回</b> 2020年3月15日(日) <b>米良 美一</b> カウンターテナー歌手</p>		<p>1971年宮崎県生まれ。3万人にひとり程度の割合で発症する難病、先天性骨形成不全症を持ち生まれる。1994年パッパ・コレギウム・ジャパンの定期公演で教会カンタータを歌ってデビュー。洗足学園音楽大学卒業後、1996年よりアムステルダム音楽院に留学。カウンターテナー歌手として世界的にも評価されている。1997年「もののけ姫」の主題歌が大ヒット。第12回日本ゴールドディスク大賞、第21回日本アカデミー賞協会特別賞として主題歌賞をそれぞれ受賞。著書に、『天使の声～生きながら生まれ変わる』(大和書房)など。</p>

(敬称略)